

令和7年度 とうきょうすくわくプログラム活動報告書



施設番号	66-1100
施設名	世田谷いちい保育園南ウイング
施設所在地	世田谷区弦巻5丁目10-22
法人名	社会福祉法人水の会

1. 活動のテーマ

自然 【色水遊び】

＜テーマの設定理由＞

アサガオの栽培をきっかけに植物に色々な色があることに興味を持ち、それらを用いて色水遊びができないかという子どもの発想から身近な自然物を用いて色水遊びがより充実できるようなテーマを設定しました。

2. 活動スケジュール

- ① 4月～5月：アサガオやシイタケ、キュウリなどの栽培を始める
- ② 6月～9月：プールや水遊びを通じて色水遊びを体験する
- ③ 10月～11月：身近な自然物を用いて色水遊びや染色体験をする

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・子どもたちが摘んできた花や葉っぱ
- ・空き容器
- ・ビニール袋
- ・スポイト
- ・透明シート
- ・コップ
- ・テーブル
- ・スプーン
- ・お玉
- ・すり鉢
- ・お酢
- ・重曹
- ・レモン汁
- ・足ふきマット
- ・雑巾
- ・色水カフェセット

4. 探究活動の実践

＜活動の内容＞

- ① 4月～5月 アサガオやシイタケ、キュウリなどの栽培を始める

アサガオとシイタケ、キュウリの苗を植えて生長を楽しみにする。毎日の水やりは欠かせません！
生長してくると、アサガオに色々な花が咲くことを知りました。



大きくなあれ！

② 6月～9月：プールや水遊びを通じて色水遊びを体験する

プールや水遊びが本格化してきた夏。今までの経験から色と色を足すと変化が起きることを知っていて、各々ジュース作りに忙しそうです。残念ながらアサガオは途中で生長がストップしてしまい、色水遊びが出来ませんでした。



なにジュース作る？

③ 10月～11月：身近な自然物を用いて色水遊びや染色体験をする

秋になり涼しくなると戸外での活動が増え、園庭や公園で採取した自然物でも色水ができるかと子どもたちから疑問が出ました。実際に子どもたちと自然物を集め、重曹や酢、レモン汁などを用いて、夏の色水遊びとは違った色の変化を楽しむと、子どもたちの中で「どうして？」と疑問が生まれる姿が見られました。また、色だけではなく匂いやシュワシュワとした音なども楽しんでいました。

大きい葉っぱ！



色が変わった！

玉ねぎの色オレ
ンジだよ！

～その後～

身近な野菜（玉ねぎ）や果物（みかん）でも色水ができないかと、子どもたちが生活の中で色々な疑問を持つようになり、自分たちでやってみようとする姿や興味関心がより広がりました。



振り返り

色水遊びは子どもたちが大好きな遊びの一つです。これまでは絵具やマジックなど人工的な物から色出しをすることが多かった活動ですが、子どもたちの疑問から自然物を用いて色出しをすることで、身近な自然物により一層興味を持つことができたように感じます。自然物だけでは素朴な色になりがちですが、重曹や酢などを用いることで子どもたちの好奇心を駆り立てることができ、改めて環境設定や、保育者の声の掛け方やタイミングの重要性を感じました。

今回は4歳児クラスでの活動となりましたが、振り返りの中で他クラスとも意見を交換することができ、全職員で保育について見直すきっかけとなりました。

今後も、子どもたちの興味関心に寄り添った保育を行い、興味関心が継続、展開していく保育を行っていきたいと思います。